

総評

数学がたいへん難しかったですが、全体としては標準的な難易度の出題でした。今回の学力コンクールは、小学校内容の復習でしたが、学習した内容を忘れてしまっていた人もいます。中学校の学習は、小学校の学習内容をより深めたり、くわしく考えたりする学習が中心で、これまで学習してきた内容はとても大切です。小学の教科書はしばらく手もとに置いておき、疑問点はすぐに調べるようにしましょう。

道コンのようなテストは、現在のみなさんの実力を測る道具であると同時に、自分の弱点に気づき、こくふくする機会でもあります。結果をぼんやりとながめるだけでは、せっかく受けたテストがむだになってしまいます。まちがえた問題を見直し、解き直して初めて、実力アップにつながり、受験した価値があるのです。

国語

やや易しい出題でした。

㊦は、(6)の得点率が低くなりました。漢字の書き問題は、小学生で習った漢字から出題されます。復習しておきましょう。㊧は、大きく得点率が低くなるような問題はありませんでしたが、指定形式を無視していたり、空欄前後とのつながりが悪かったりする解答が見られました。解答の形式を整える力が必要になります。㊨は、問五の得点率が一番低くなりました。本文の複数の箇所を読み取らないと答えることができない問題だったためだと考えられます。文章の流れを正確に捉える力が求められます。㊩は、問五の得点率が低くなりました。問題文で聞かれていることを捉えられていないような解答が多く見られました。問題文において、「何を」問われているのかをしっかりと把握するようにしましょう。

数学

非常に難しい出題でした。主に小学6年生の分野からの出題でしたが、問題自体の難易度に加え、小学とは異なるテスト形式や時間配分など、慣れない部分があったかもしれません。

①は、いずれも得点しておきたい基本問題です。まちがえたところは必ず復習してください。

②、③、④は、変わり方や速さ、データの調べ方など、中学1年生で学習する内容への導入も兼ねた出題でした。③問2のような問題は、速さ・道のり・時間の関係を図に表すと考えやすくなります。④問2(2)は得点率が伸びませんでした。比べる対象は何か、どのように書けばよいのか、解説を参考に整理してみてください。

⑤、⑥は応用問題でした。解けた人も解けなかった人も、改めて復習してみましょう。

社会

標準的な出題でした。

①、②は5年生で学習した内容だったので、忘れてしまっていたところがあったと思います。地理では、国や海洋、平野などについて名称と位置を合わせて覚えることが大切です。

③、④は歴史分野の出題でした。④問6の得点率が低くなりました。憲法の名称を書けても発布された時期がわからないという人が多かったようです。歴史は時期を問う問題がよく出題されるので、苦手な人は今のうちから年表を利用して歴史の大まかな流れをつかむようにしましょう。

⑤は政治、⑥は国際社会に関する出題でした。どちらも資料を読み取る問題はよくできていました。

理科

やや易しい出題でした。忘れてしまっていたところがあったと思います。中学校では、小学校で学習した内容をさらに詳しく学習することが多くあります。中学校での学習内容がふえる前に、まちがえたところなどをしっかりと復習しておきましょう。

①は、6年生で学習した内容で、中1ですぐに学習を始める人が多いと思われます。気体の性質についてもう1度確認しておきましょう。②～④は、基本的な内容が多く出題されました。まちがえたところは復習しましょう。⑦は、5年生で学習したもので、いくつか思考するやや難しい問題がありましたが、多くの人が正解できていたようです。⑧は、全体に得点できなかったようです。実験の流れを理解して、計算する問題が多かったこともあり、難しかったようです。

英語

標準的な出題でした。

①問4は英語の質問に英語で答える問題でした。文頭は小文字ではなく大文字で書き始めましょう。また、スペルミスには気をつけましょう。

②問2は本文中の英文の意味を日本語で答える問題でした。日本語で書いた意味が伝わるかどうか、日本語の誤字脱字がないかをしっかりと確認しましょう。

③問3は「Thank you.」などと英語で書く問題でした。英語でよく話したり聞いたりする表現も、書いてみると難しいことがあるので注意してください。

小学校の英語では「聞くこと」と「話すこと」が中心でしたが、中学校の英語では「書くこと」と「読むこと」ことが加わります。単語や文法、発音、聞き取りなどをバランスよく学習しましょう。